

1. 環境チャレンジ目標2030



環境チャレンジ目標 エコチャレ2030

(※2018年策定)

目標年度：2030年度 2030年に向けた環境チャレンジ目標を策定し、取り組みを推進しています。

チャレンジ1 事業活動におけるCO₂排出量を半減！

2050年度には、90%削減を目指す！

重点施策

- 設備更新／車両更新
- 省エネチューニング
- 太陽光自家発電・自家消費
- 電気自動車・トラックの導入
- コープでんきへの切替

チャレンジ2 事業活動における食品廃棄物を半減！

重点施策

- 店舗廃棄重量削減
- フードバンク等への食品提供拡大
- 食品リサイクル率向上

チャレンジ3 環境に配慮したエシカルな商品やサービスの開発・供給推進！

重点施策

- 環境配慮型のエシカルな商品・サービスの開発・供給推進
- 地産地消の推進
- 容器包装の削減

チャレンジ4 組合員とともにエシカル消費を拡大！

重点施策

- エシカルな商品、エシカルな暮らしのあり方に関する学習・広報の推進
- 組合員とともにエシカル消費を拡大

2. 「環境チャレンジ目標2030」にもとづく2019年度計画

<チャレンジ1> CO₂排出量を半減！

- 太陽光の自家発電・自家消費を、新たにコープ西明石で導入。その他の導入可能性について継続調査
- コープでんきの供給事業所の拡大(民間PPS対象事業所および子会社の切替え)を検討
- 省エネチューニングの対象事業所を拡大(2018年度：61事業所→2019年度：コープ店全店舗)
- 営業車に電気自動車を導入(協同購入センター北神戸・西神戸・姫路東・高槻の4事業所)
- 設備更新の際、省エネ設備への切替えを促進

<チャレンジ2> 食品廃棄物を半減！

- 「てまえどり」をはじめとする食品ロス削減運動を、組合員とともに全エリアへ水平展開できないか検討
- 店舗業態では、18年度の「もったいないプロジェクト」やロス削減の成果を踏まえ、店舗でのロス削減に向けた具体的な取り組みを継続して進める
- 店舗での管理日数切れ食品のフードバンク提供の運用徹底、および地域団体への提供拡大

<チャレンジ3> 環境に配慮したエシカルな商品やサービスの開発・供給推進！

- 6月と10月のエシカル強化月間にエシカルな商品の企画・供給促進
- コープでんきの「地産地消」性の訴求、電源開発(ソーラーシェアリング等)
- 宅配業態が中心となって、コープでんき加入件数を拡大
- 2019年問題への対応として新サービスの開始に向けた準備

<チャレンジ4> 組合員とともにエシカル消費を拡大！

- 「環境&福祉」の位置づけで、阪神友愛食品社員による「鳴尾浜リサイクルセンター」での組合員見学会の強化
- 古紙めむ・内袋(商品配達用ポリ袋・帳票袋)の回収強化
- 上記の回収品をプレスする「玉津リサイクルセンター」での組合員見学会の強化
- G20開催による脱プラスチックへの社会的関心の高まりを念頭に、改めてマイバッグ持参の呼びかけを強化。新加入時に呼びかけ用のオリジナルエコバッグ製作を予定(レジ袋代金の有効活用)
- 6/1に「脱プラスチック」をテーマにしたシンポジウムを開催
- 年2回のフードドライブ集中取り組みと並行し、回収ボックス常設化の事例(西宮市内)を水平展開